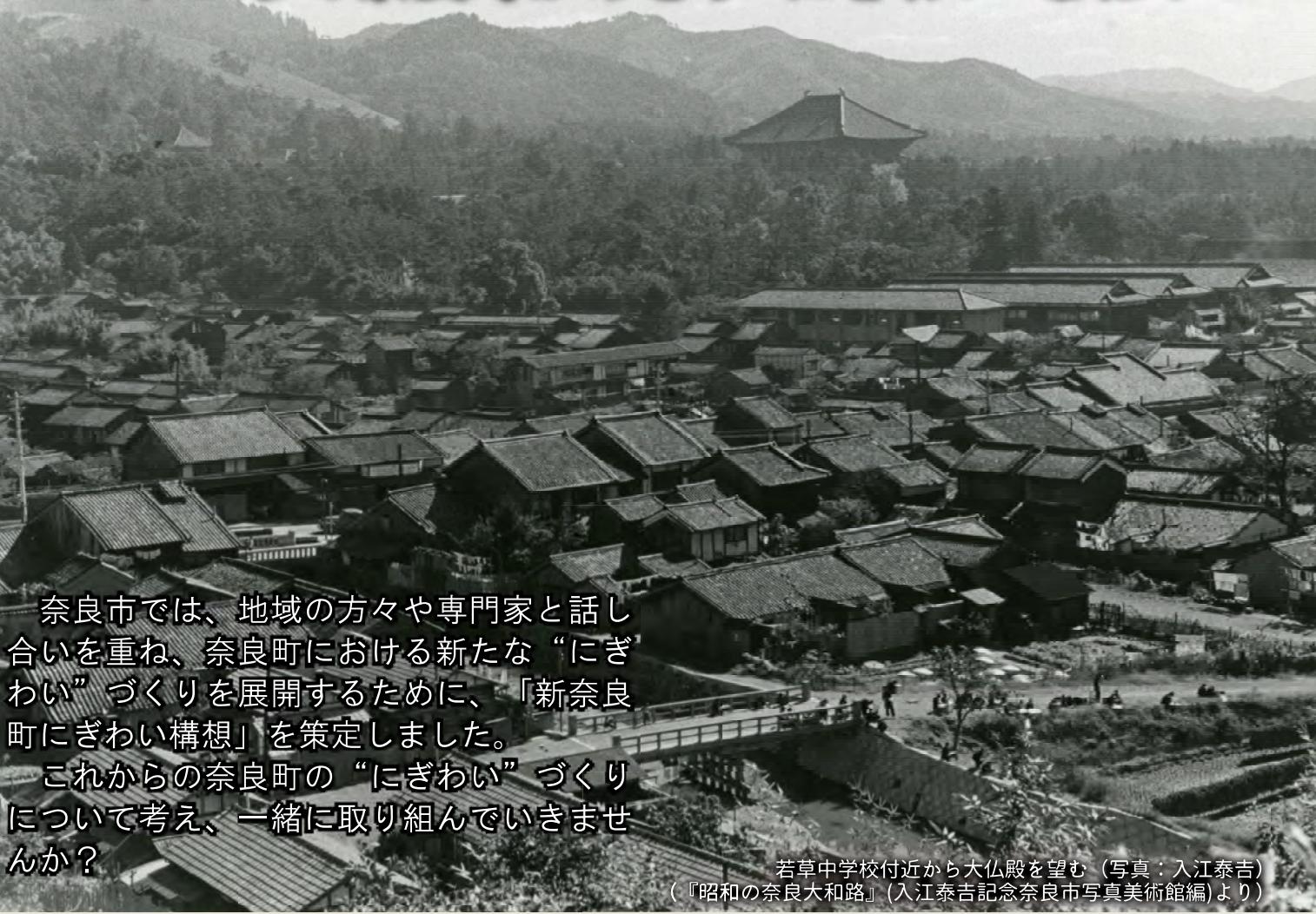


奈良町にぎわいづくり新戦略

これからの中奈良町がめざす“にぎわい”とは？



奈良市では、地域の方々や専門家と話し合いを重ね、奈良町における新たな“にぎわい”づくりを展開するために、「新奈良町にぎわい構想」を策定しました。

これからの奈良町の“にぎわい”づくりについて考え、一緒に取り組んでいきませんか？

若草中学校付近から大仏殿を望む（写真：入江泰吉）
（『昭和の奈良大和路』（入江泰吉記念奈良市写真美術館編）より）

| 日時 | 2017年2月25日 土 13時30分～16時00分 (受付は13時00分～)

| 会場 | 日本聖公会奈良基督教会

奈良市登大路町45 ※駐車場・駐輪場はございません。

| 定員 | 150名

| 参加費 | 無料

申し込み不要

| 主催 | 奈良市



| お問い合わせ先 |

奈良市観光経済部奈良町にぎわい課

TEL : 0742-24-8936

シンポジウムの主旨

奈良市では、平成4年1月に策定した「ならまち賑わい構想」（旧構想）のもとに進めてきたさまざまな取り組みの成果と課題を検証し、現在の奈良町をとりまく環境を踏まえたにぎわいづくりのための新たな構想「新奈良町にぎわい構想」の策定に取り組んできました。

構想づくりにあたっては、「奈良町の町並み保存のあり方を考える懇話会」やならまち・きたまちの2つの「分科会」の開催、自治会長様へのアンケート調査の実施などを通じて、住民や活動団体、専門家などのさまざまな方のご意見を反映させてきました。

このシンポジウムは、全国の先進的な取り組みなども紹介いただくなかで、今後の奈良町のにぎわいづくり・まちづくりについて考え、「新奈良町にぎわい構想」のもとに、一緒に取り組んでいくきっかけにしていければと思います。

| プログラム |

13:30~13:40	開会挨拶	仲川げん（奈良市長）
13:40~14:20	【基調講演】 奈良ならではの 景観まちづくりを考える	西村幸夫（東京大学大学院工学系研究科教授）
14:20~15:00	「奈良町の町並み保存の あり方を考える懇話会」提言と ディスカッション	懇話会委員、仲川げん（奈良市長）他
15:00~15:10	休憩	
15:10~16:00	【パネルディスカッション】 これから奈良町の にぎわいづくりについて	コーディネーター 西村幸夫（東京大学大学院工学系研究科教授） パネリスト 崎田恭平（日南市長） 他力野淳（バリューマネジメント株式会社代表取締役） 仲川げん（奈良市長）
16:00	閉会挨拶	津山恭之（奈良市副市長）

【会場情報】 国指定重要文化財

日本聖公会奈良基督教会について

奈良基督教会は、聖公会が奈良での伝道を明治18年（1885）に開始して以来、移転・新築を経た後、興福寺境内の西南角1,700坪余りを購入、昭和15年（1930）に現在の形で竣工しました。同教会の信徒で郡山出身の宮大工であった大木吉太郎を設計者にえて、興福寺に隣接するという立地条件のなかで、キリスト教会建築の形式と日本建築の粹を深い理解力と伝統的な技によって、見事に融和させた建築です。

外観は入母屋破風と千鳥破風を組み合わせた和風瓦葺きの屋根、真壁造りの壁面構成という寺院風。内観は吉野杉の素材の柱も清々しい神社風に聚楽壁という数寄屋の要素もまじえ、日本人の眼に実に素直に馴染みます。信徒の育てた桐材を用いた繊細な欄間の透かし模様は、洗練されて軽やかです。しかし、縦長の堂内空間は本質的に神社仏閣とは異なります。平面構成は三廊式の長堂、身廊立面はトリフォリウム（欄間）、クリアストリー（高窓）をそなえた三層構成と西欧のキリスト教会建築の定石そのままです。

そして建築自体はもとより、当時の奈良帝室博物館長・久保田鼎の監修により正倉院宝物の七宝技法を駆使した十字架や聖杯などの聖具、マルタ十字と鳩というキリスト教の象徴を刻んだ意匠にいたるまで、古都にふさわしく対応した異文化の理想的な形式がみられます。



| 講師紹介 |

■ 基調講演／パネルディスカッション（コーディネーター）

西村 幸夫 氏 東京大学大学院工学系研究科教授

1952年、福岡市生まれ。東京大学都市工学科卒、同大学院修了。明治大学助手、東京大学助教授を経て、1996年より東京大学大学院教授。専門は都市計画、都市保全計画、都市景観計画など。工学博士。日本イコモス国内委員会委員長、国土交通省国土審議会委員、文化庁参与などをつとめる。



主な著書に『西村幸夫 風景論ノート』（鹿島出版会、平成20年）、『都市保全計画』（東大出版会、平成16年）など、主な編著書に『図説 都市空間の構想力』（学芸出版社、平成27年）、『まちの見方・調べ方』（朝倉書店、平成22年）、『観光まちづくり』（学芸出版社、平成21年）などがある。

■ パネルディスカッション（パネリスト）

崎田 恭平 氏 日南市長

1979年、日南市生まれ。九州大学を卒業後、宮崎県庁を経て2013年4月日南市長に就任。「日本の前例は日南が創る『日本一組みやすい自治体』」と榜頭し、ベンチャー企業並みのフットワークで事業展開を行う。また、城下町の景観維持・活用に民間人（まちなみ再生コーディネーター）を登用し、民間のノウハウや資金を活かし事業に取り組む。



他力野 淳 氏 バリューマネジメント株式会社 代表取締役

2005年バリューマネジメント株式会社設立、代表取締役に就任。文化財など伝統的建造物、行政の遊休施設の修復運用や、ホテルや旅館、結婚式場などの施設再生を行なう。「施設再生から地域を活性化に繋げ、日本独自の文化を紹ぐ」がテーマ。グローバル起業家団体EO OSAKA元会長。地域資産活用協議会Opera副会長。婚礼業界活性化組織一般社団法人次世代ブライダル協議会会長。



仲川 げん 氏 奈良市長

1976年奈良県生まれ。北大和（現奈良北）高校卒。立命館大学経済学部卒業。国際石油開発帝石（株）及び奈良NPOセンターでの勤務を経て2009年7月、脱利権・脱ムダを訴え当時全国で2番目に若い33歳で奈良市長に初当選。現在二期目。2011年「日本を立て直す100人」（AERA）に選出される。中核市市長会会長。

